

## モニタリング結果報告書

施設 地球市民かながわプラザ

指定管理者 (財)かながわ国際交流財団

施設所管課 県民局くらし文化部国際課

(平成22年度 上半期)

## 管理運営状況総括

## 1 月例報告書によるモニタリングの概況

報告月	受理日	確認通知日	備考(確認事項等)
4月	5月8日	5月18日	改善すべき業務等なし
5月	6月9日	6月18日	施設管理業務の適正な実施
6月	7月8日	7月20日	個人情報の適切な取扱い
7月	8月8日	8月17日	改善すべき業務等なし
8月	9月8日	9月17日	事故防止等安全管理体制の確保
9月	10月8日	10月18日	改善すべき業務等なし

## 2 指定管理者の選定理由にある取組み等の実施状況

## (1) 提案内容の達成度

A: 提案を上回る B: 提案どおり C: 提案を下回る

## (2) 実施状況等

指定管理者の選定に際して、サービスの向上や利用促進の観点から提案された各取組み等について、提案内容の要旨とそれに対応する形で実績を記載する。

## &lt; 提案内容の概要 &gt;

地球市民意識の醸成と多文化共生社会を築くための総合的学習施設として、プラザの持つ施設資源を最大限に活かし、一般来館者、教育関係者、外国籍県民と異なる対象層に最も適した方法で学習機会を提供することなど、施設の効用を高めるため、バランスよく安定的な事業の展開を具体的に提案した。

- ①世界の多様な文化や地球的規模の課題に対する子どもの理解を深めるため、小学校、中学校、高等学校、幼稚園から校外学習を受け入れるとともに、民族衣装の試着や民族楽器の演奏体験など、世界の文化や暮らしを実感してもらうワールドカルチャー・デイを毎月実施するなど、プラザの施設特性や学習資源を活用した学習機会を提供する。
- ②プラザの設置目的を踏まえ、地球規模の課題や多文化共生・異文化理解などをテーマに、企画展を実施し、プラザの学習センター機能を充実させる。
- ③外国籍県民の生活支援の観点から、多言語資料を活用し、外国籍県民の相談体制を整備する。

## &lt; 実施状況 &gt;

- ①4月～9月 校外学習受入数 58校  
ワールドカルチャー・デイ(各月のテーマ: 4月タイ、5月韓国・朝鮮、6月ヨーロッパ、7月太平洋、8月アフリカ、9月中国)  
プラザ利用者数 157,294名
- ②8月1日～30日 「写真展 微笑(ほほえみ)を浮かべて」 来場者数 3,661名  
ロバート・キャパ等報道写真家4人が戦争や終戦時の日本を撮影した写真等の展示、ドキュメンタリー映画の上映や講演会の開催
- ③4月～9月 外国人教育相談事業を実施 相談件数 280件  
相談日 週3日、対応言語 中国語、スペイン語、タガログ語、日本語  
5月に本事業の実績をまとめた報告書を公表

3 収支状況（単位：千円）注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しません。

	収 入 額			支出額	収支差額
	指定管理料	利用料金 (前年同月料 金額)	その他収入		
年間予算額	318,347	318,347		318,347	0
上半期計 (a)	149,721	149,721	( )	114,207	34,801
下半期計 (b)	—	—	( )	—	—
4月	18,086	18,086	( )	6,611	11,474
5月	16,175	16,175	( )	17,316	△1,141
6月	41,251	41,251	( )	30,174	11,076
7月	24,737	24,737	( )	20,784	3,952
8月	24,737	24,737	( )	20,452	4,284
9月	24,735	24,735	( )	18,870	5,864
合計 (a+b)	149,721	149,721		114,207	34,801

- 1 指定管理者の収入を記載する（県の収入である「使用料」は含まない）。  
 2 「その他収入」は、都市公園の駐車場収入、雑収入、寄付金収入など指定管理料と利用料金以外のすべての収入を記載する。

収支状況に関する意見等

- ・半期計欄の収支差額が、収入額又は支出額のうち低い方の額の1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。
- ・また、収支差額に1割以上プラスが生じた主な理由が、人件費の削減である場合は、年度協定における人員配置計画と比較し、合理性が認められるか否かを記載する。
- ・年間予算額の収支が均衡していない場合は、その理由を記載する。

光熱水費の節減を図ったことや、上半期に見込んでいた保守点検費用等の請求が下半期であったこと等により、支出が予算額より抑制できた。

（今期に行った資本的な収入及び支出等の状況）

	内容	金額(千円)
収入の状況	なし	
支出の状況	なし	
積立等の状況	なし	(期首)
		(期末)

収入の状況：定期預金の取り崩し、借入れによる収入があった場合等は、その旨を必ず記載する。  
 支出の状況：車両の購入、施設の増改築、また定期預金の積み立てを支出に含めた場合等は、その内容を必ず記載する。  
 積立等の状況：積立・借入れ等がある場合は、その内容（施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等）、当該期首及び期末の金額を必ず記載する。

#### 4 利用状況

	利用者数	前年同月利用者数	前年対比増減率
上半期計 (a)	157,294 人	138,911 人	13.2%
下半期計 (b)	— 人	— 人	— %
4 月	22,332 人	18,424 人	20.7%
5 月	21,877 人	30,184 人	△27.5%
6 月	23,187 人	18,280 人	26.8%
7 月	29,887 人	25,656 人	16.5%
8 月	31,532 人	27,961 人	12.8%
9 月	28,479 人	18,406 人	54.7%
合計 (a+b)	157,294 人	138,911 人	13.2%

#### 利用状況に関する意見等

〔半期計欄の前年対比増減率が、1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。〕

平成 22 年度から図書閲覧者を利用者数に加えているため。

#### 5 苦情・要望等の状況

(施設受付分)

報告月	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	メール	アンケート	
4 月						
5 月						
6 月			1			1
7 月			1			1
8 月						
9 月						

(施設所管課受付分)

報告月	口頭	文書	合計
4 月			
5 月			
6 月			
7 月			
8 月			
9 月			

#### 6 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

〔類似の苦情や要望が多く寄せられたもの、苦情や要望をもとに対応した取組みが利用者に評価されたもの、苦情や要望のうち対応したいと考えるが、諸般の事情により対応できないものなどを記載する。〕

分野	概要	対応状況
施設・設備	・特になし	
	・	
職員対応	・	
	・	
事業内容	・	
	・	
その他	・	
	・	

## 7 事故や不祥事等の発生状況

利用者や職員が死傷した場合、業務の実施において法令違反等による指導や処分を受けた場合及び個人情報や公金の管理等において不適切な取扱い等があった場合は、その概要と対応状況を記載する。なお、利用者の死亡事故や個人情報の流出等、重大な事故や不祥事が発生した場合は、県庁改革課に任意の様式により速やかに報告書を提出する。

発生日	概要・対応状況等
6月11日 12日	メール誤送信に伴うアドレス流出事故 記者発表、再発防止措置
8月22日	展示室内遊具における子どもの事故 記者発表、再発防止措置
月 日	

## 8 随時モニタリングの実施状況

事故や不祥事の発生等に伴い、施設所管課が随時モニタリングを実施した場合は、調査内容や結果を記載する。

実施日	対応者等	経緯・調査内容	調査結果
6月18日	館長等	メール誤送信に伴うアドレス流出事故についての注意	個人情報の安全管理の徹底について指導
月 日			

## 9 上半期の所見等

1～8の各項目の状況等を踏まえ、指定管理業務をより効果的・効率的に推進する観点から、反省点や改善策等を記載する。

指定管理者	<p>事故の発生については、再度このような事故が起きないように適正な施設管理に努めて参りたい。</p> <p>事業については、外国籍県民教育相談事業において、過去4年間の相談記録から外国人児童生徒が置かれている教育課題についてまとめた報告書を作成するとともに、平和をテーマにした企画写真展「微笑を浮かべて」や市民団体との共催事業「絵日記による学童疎開600日の記録展」を開催した。</p>
施設所管課	<p>個人情報に係る事故については厳重に注意するとともに、再発防止のための措置を講じるよう指導した。</p> <p>事業の実施面については、上記のとおり、多文化理解を推進するための事業や県民の国際平和への認識を深めるための事業など、施設の設置目的を踏まえた事業展開を積極的に行っており、引き続きの取組みを期待している。</p>